

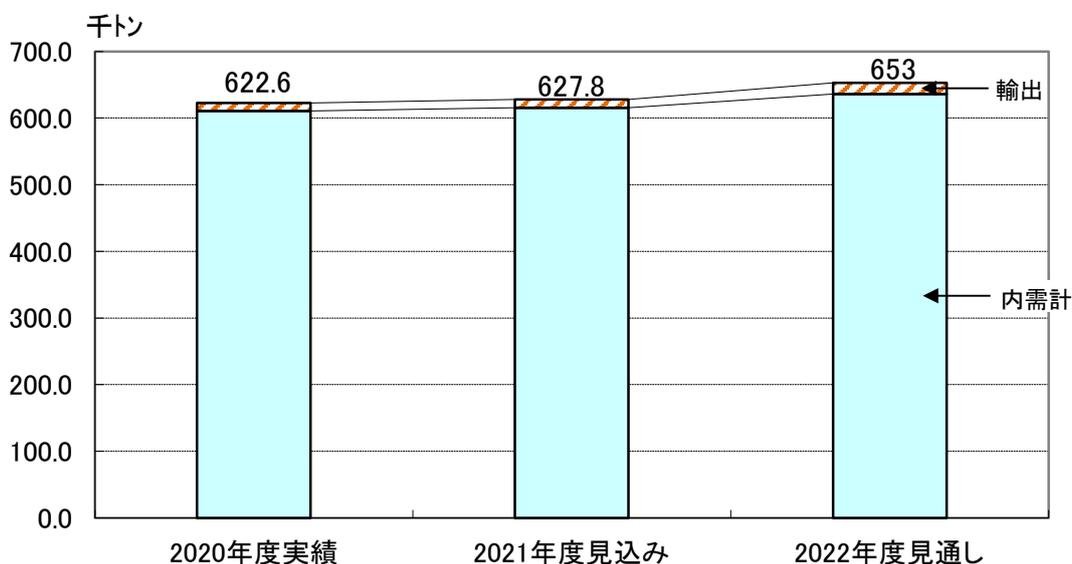
2022年度 電線需要見通し概要

2022年3月
調査統計専門委員会

1. 2022年度需要見通しの前提

実質GDP成長率	+3.7%
民間最終消費支出	+4.3%
民間企業設備投資	+6.2%
民間住宅投資	+0.5%
鉱工業生産指数	+5.5%

2. 2022年度電線需要予測結果



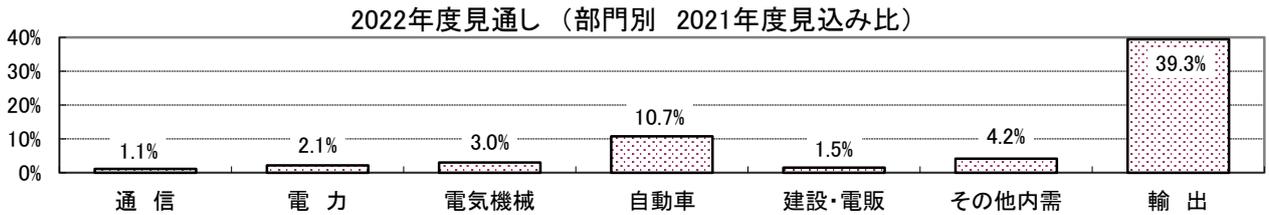
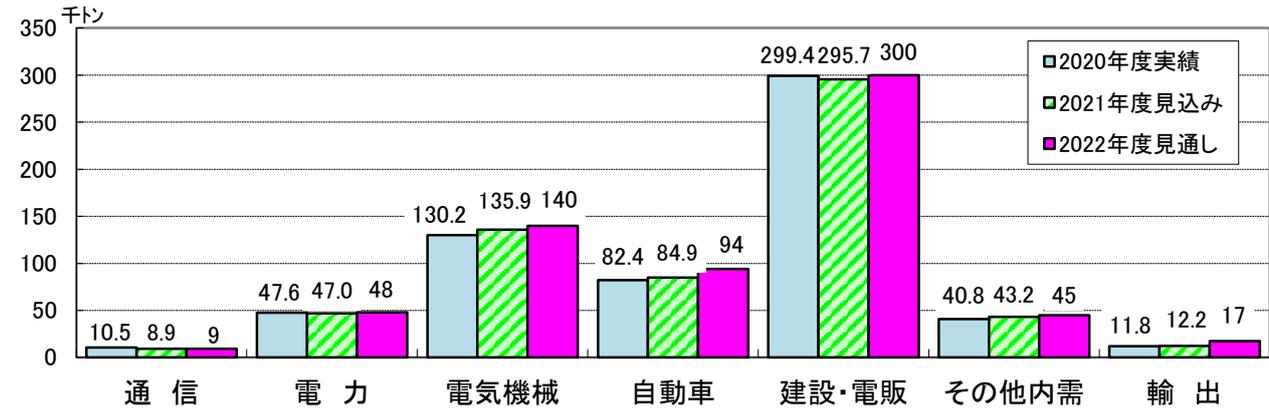
単位:千トン

銅電線	2020年度実績	2021年度見込み	21/20 伸び率	2022年度見通し	22/21 伸び率
内 需	610.8	615.6	0.8%	636	3.3%
輸 出	11.8	12.2	3.4%	17	39.3%
合 計	622.6	627.8	0.8%	653	4.0%

単位:千トン

アルミ電線	2020年度実績	2021年度見込み	21/20 伸び率	2022年度見通し	22/21 伸び率
合 計	31.9	25.7	-19.4%	26	1.2%

3. 2022年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	2021年度は、データセンターや5Gの普及は継続するものの、光化進展の動きも継続し、減と見込まれる。 2022年度は、光化の動きは継続するも、データセンター、テレワーク需要が堅調を維持するとみて、増と予測した。
電力	2021年度は、コロナ禍の影響下での工事延期や投資計画見直しにより、減と見込まれる。 2022年度は、設備更新需要の再開、再エネ関連の需要増を期待し、増と予測した。
電気機械	2021年度は、コロナ禍の影響下でも、家電、電子・通信を中心に回復し、増と見込まれる。 2022年度は、半導体不足継続、原材料高騰等による影響が懸念されるが、緩やかな回復基調は続くとして、増と予測した。
重電	発電所、プラントの設備投資に期待し、増と予測。
家電	高性能家電需要など堅調に推移し、増と予測。
電子・通信	テレワーク、医療向け需要の伸びは鈍化するものの、デジタル化、無人化、省力化の需要増で推移するとみて、増と予測。
電装品	半導体供給の懸念はあり自動車生産台数の回復は鈍いが、電動化の進展は続くとして、増と予測。
自動車	2021年度は、自動車生産台数は海外からの部品調達難、半導体不足等により減産続き、前年度比減となったものの、電動化の進展や次世代自動車のシェア増により、増と見込まれる。 2022年度は、半導体不足の継続等により自動車生産台数の回復は鈍いものの、電動化進展の傾向も継続するとみて、増と予測した。
建設・電販	2021年度は、コロナ禍の影響長期化に加え、資材価格高騰等による案件見直しがあり、減と見込まれる。 2022年度は、コロナ禍終息後の設備投資需要の回復や都市再開発案件を期待して、増と予測した。
その他内需	2021年度は、前年度民間設備投資大幅減の反動などで、増と見込まれる。 2022年度は、公共投資、民間設備投資が徐々に回復するとみて、増と予測した。
輸出	2021年度は、コロナ感染拡大の長期化、各国経済状況の長期悪化からプロジェクトの延期が続いたが、物流網の混乱等が解消に向かうとみて、増と見込まれる。 2022年度は、米中摩擦や欧米とロシア間の対立など、国際情勢の影響が懸念されるものの、コロナ禍で落ち込んでいたインフラ整備等が回復すると思われ、増と予測した。

(注)コメント中の増減は対前年度比をいう。(2021年度は2020年度実績比、2022年度は2021年度見込み比)

以上

2022年度電線需要見通し

(総括表)

2022年3月

単位:千トン

区 分 年 度		出 荷			
		銅 電 線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
	2015(実績)	699.2	-3.4	26.0	8.8
	2016(実績)	680.2	-2.7	28.4	9.2
	2017(実績)	686.9	1.0	28.5	0.4
	2018(実績)	697.8	1.6	29.9	4.9
	2019(実績)	694.2	-0.5	31.0	3.7
	2020(実績)	622.6	-10.3	31.9	2.9
2021 実績 見込み	上期	305.3	(3.4)	13.7	(-10.5)
	下期	322.6	(-1.5)	12.0	(-27.7)
	計	627.8	0.8	25.7	-19.4
2022 見通し	上期	322	(5.5)	13	(-5.1)
	下期	331	(2.6)	13	(8.3)
	計	653	4.0	26	1.2

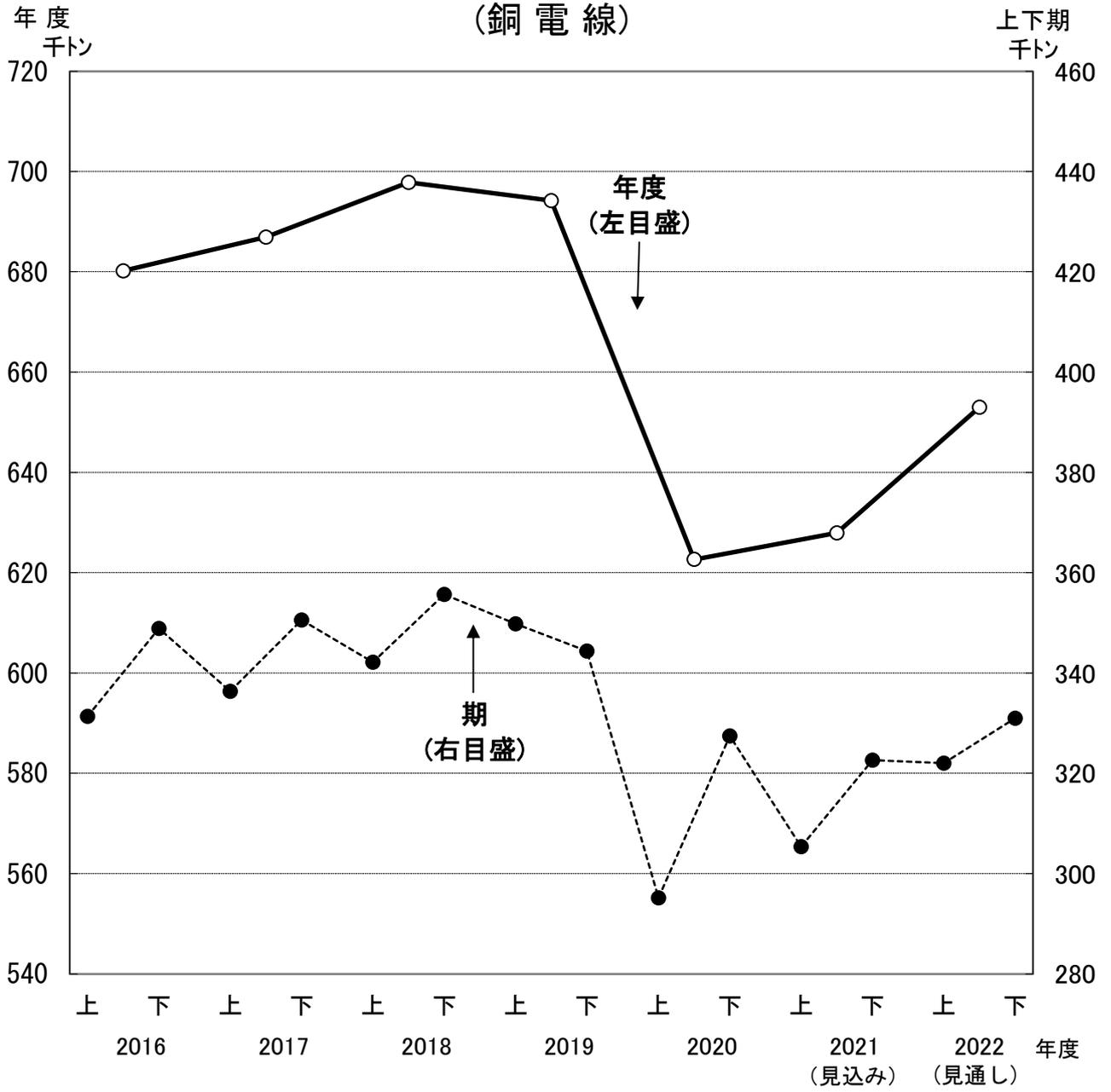
[HN220314]

- (注)1. ()内は前年同期比を示す。
2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

図 1

出荷推移表 (銅電線)

2022年3月



2022年度電線需要見通し (主要部門別)

2022年3月

単位:千トン

年度 期 部門	出 荷								
	2020 (実績)	2021(実績見込み)			21/20 (%)	2022(見通し)			22/21 (%)
		上期 (実績)	下期 (見込み)	計		上期	下期	計	
通 信	10.4	4.5	4.4	8.9	-14.4	5	4	9	1.1
電 力	(17.5) 47.6	(7.4) 23.0	(6.7) 24.0	(14.1) 47.0	(-19.4) -1.3	(7) 24	(7) 24	(14) 48	(-0.7) 2.1
電気機械	130.2	67.8	68.1	135.9	4.4	70	70	140	3.0
重電	20.9	/	/	20.8	-0.5	/	/	22	5.8
家電	10.4	/	/	11.3	8.7	/	/	12	6.2
電子・通信	24.5	/	/	28.1	14.7	/	/	29	3.2
電装品	56.3	/	/	55.5	-1.4	/	/	57	2.7
その他	18.2	/	/	20.2	11.0	/	/	20	-1.0
自 動 車	82.4	40.8	44.1	84.9	3.0	47	47	94	10.7
建設・電販	299.4	142.2	153.5	295.7	-1.2	146	154	300	1.5
その他内需	(5.9) 40.8	(2.8) 20.7	(3.1) 22.5	(5.9) 43.2	(0.0) 5.9	(3) 22	(3) 23	(6) 45	(1.7) 4.2
内 需 計	(23.4) 610.8	(10.2) 299.1	(9.8) 316.6	(20.0) 615.6	(-14.5) 0.8	(10) 314	(10) 322	(20) 636	(0.0) 3.3
輸 出	(8.5) 11.8	(3.5) 6.2	(2.2) 6.0	(5.7) 12.2	(-32.9) 3.4	(3) 8	(3) 9	(6) 17	(5.3) 39.3
合 計	(31.9) 622.6	(13.7) 305.3	(12.0) 322.6	(25.7) 627.8	(-19.4) 0.8	(13) 322	(13) 331	(26) 653	(1.2) 4.0

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

[HN220314]